

お わ り に

開校以来、私たちは「発達に即応した教育課程の編成」を学校の研究テーマとして取り組んできた。新設校という現実と直面した時、当然の成り行きとして避けることのできないテーマであった。新校舎に移転するまでの3年間は附属小・中学校での間借生活、加えて教官定数は充足されない状況であったが、指導計画作成はゆるがせにできない命題であった。この時期は新指導要領の分析研究による教育課程の全体構想をまとめながら、特に生活単元学習の計画と実践に主力を注ぐことにした。

昭和58年度から高等部3年生までが完結し教官配置も一応完了したので、これまでの研究実践を受けて、テーマの見直しや各教科、領域の指導計画を学校の実情に即して2か年計画で改訂することにした。この改訂作業は当初の思惑より難航した。全体会で公開研究部会であるいは各学部で、各教科、領域のグループ会でそれぞれの立場から角度を変えての討議が繰返され続けた。

ここに分厚い冊子を手にした時、6年間の実践の足跡と教官一人ひとりの苦悩に想いを馳せるのである。解決されなかった問題や検討の余地を残したまゝのものもある。今後さらに研究実践に努めなければならない。

副校長 別府 一男

研 究 同 人		
校 長 松下 為隆	副 校 長 別府 一男	教 頭 徳田 篤郎
<小 学 部>	<中 学 部>	<高 等 部>
教 諭 永江 武紀	教 諭 森尾 恭光	教 諭 前田 房雄
” 福田 孝志	” 萩原美佐子	” 平屋 浩司
” 古賀 政文	” 高木 寛治	” 横井 慎一
” 中村 良一	” 宮内 英光	” 山下加代子
” 竹宮 一恵	” 西富 寛昭	” 吉国 潔
” 宇治野 朋子	” 濱島 直	” 稲田 明弘
” 斉野 節子	” 山下みずほ	” 岩本 伸一
講 師 前園 孝哉	養護教諭 久保早百合	講 師 内野美和子
国内留学 上村 伸雄	育児休暇 山口三重子	
転 出 重山 岩久	小園 健一 亀澤 春寿	廣森 幸代
有村 信子	鬼塚 正秀 豊島由加子(旧姓 土居)	

研究紀要 第5集

生き生きと動く子どもを育てる教育課程の編成

—— 指 導 計 画 編 ——

印 刷 昭和61年1月20日

発 行 昭和61年1月31日

編 集 鹿児島大学教育学部附属養護学校

印刷所 竹 宝 堂 印 刷

鹿児島市平之町9-16

電話 23-9629

22-0624
